

工場増設し材料自動倉庫

精密板金のモハラテクニカ

精密板金加工のモハラテクニカ(高崎市矢島町326-1、茂原純一社長☎027-352-1700)はこのほど、工場を増設、最新鋭の材料自動倉庫を導入した。同社はここ10年来、レーザー加工機などを中心に積極的な設備投資を実施する一方、増え続ける工作機械により、材料のストックスペースを確保するのに苦労していた。今回の増設により、工場内レイアウトの最適化を実現したほか、自動倉庫を新規導入することで、作業効率が大幅に改善。生産能力は2倍程度に達すると見ており、新規受注を取り込んでいく方針だ。(塚越吉洋)

**作業効率
大幅改善 生産能力2倍に**

新規受注へ積極投資



茂原社長

同社は00年に現在地に本社工場を移転。以降、

アマダ製の複合機(タレットパンチプレス+レーザー加工)やトルンプ社(ドイツ)のレーザー加工機など、おう盛な需要に合わせ、設備を増やしてきた。一方で課題となつて

たのが材料のストックスペースだ。多品種少量生産(1カ月約2000点)に対応しつつ、短期対応を実現している同社が抱えている鋼板材は常時、100種類以上にも及ぶ。

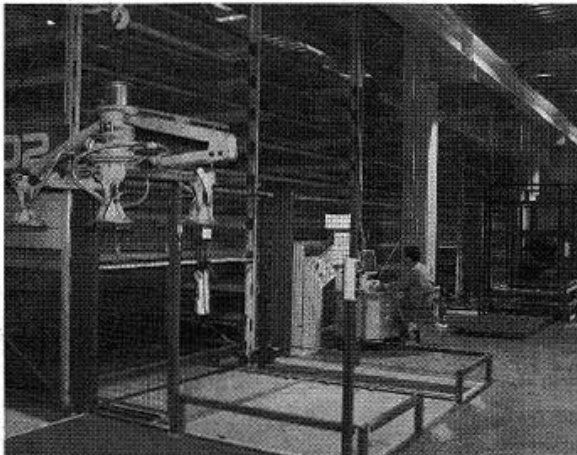
これまでは、これらが工場内数カ所に分散され山積みされており、1つの材料を取り出すだけで、「15分程度掛かることもあった」(茂原社長)という。こうした課題を解消し、効率的な生産体制を構築しようとして取り組んだのが今回の計画。

工場を増設規模は、延べ床約1300平方メートルで、自動倉庫なども合わせた総投資額は1億3000万円。増設スペース



コンピュータ室も改装した。今後、こうした体制を積極的にPRすることで、新規受注を積極的に取り込む一方、スペースに余裕ができたことから、さらなる設備投資も視野に入れていく。

茂原純一社長の話。これまで手狭すぎて、何かを動かすだけで四苦八苦していた。十分な作業スペースは、従業員の安全確保にもつながるよう、仕事を早期回収できたい。



新設した自動倉庫。取り出しスピードは平均約1分

工場を増設規模は、延べ床約1300平方メートルで、自動倉庫なども合わせた総投資額は1億3000万円。増設スペース

工場を増設規模は、延べ床約1300平方メートルで、自動倉庫なども合わせた総投資額は1億3000万円。増設スペース

工場を増設規模は、延べ床約1300平方メートルで、自動倉庫なども合わせた総投資額は1億3000万円。増設スペース

工場を増設規模は、延べ床約1300平方メートルで、自動倉庫なども合わせた総投資額は1億3000万円。増設スペース